

静岡県生活協同組合連合会

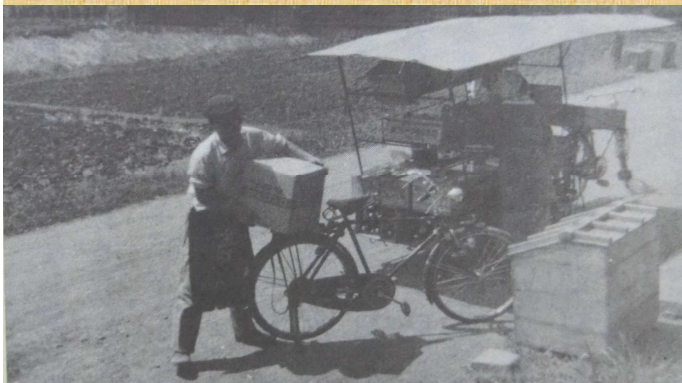
# 50年の歩み

1967～2017



静岡県生活協同組合連合会

1949（S24）年 静岡県に初めての  
生活協同組合である「静岡民主生活協同組合」創立



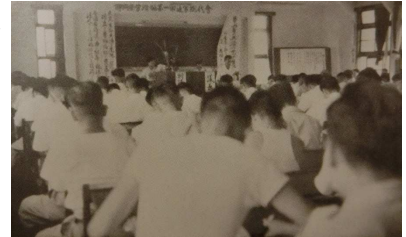
当時は、組合員の家を御用聞きをして回り、リヤカーに商品を積んで届けていました。



静岡県生活協同組合連合会

## 地域・学校・職域で生活協同組合創立

- 1953年 静岡大学生生活協同組合  
 1957年 静岡県労働者共済生活協同組合  
 学校生活協同組合連合会  
 1959年 中遠生活協同組合  
 1960年 えんしゅう生活協同組合



第1回通常総代会（県労済生協）



静岡県生活協同組合連合会

## 地域・学校・職域で生活協同組合創立

- 1961年 中部生活協同組合  
 島田勤労者生活協同組合  
 1962年 東部地方勤労者生活協同組合  
 静岡県住宅生活協同組合  
 1963年 鈴木自動車工業生活協同組合  
 1965年 佐久間生活協同組合



本社売店の様子（鈴木自動車生協）



静岡県生活協同組合連合会

## 1960年当時の様子（移動販売車）



リヤカーから軽トラック「くろがねベビー号」に切り替わりました。（静岡生協）



巡回車と当時の学校風景（県教職員生協1966年頃）



静岡県生活協同組合連合会

## 1964年 静岡県内で生協の初店舗 静岡生協 水道店開店



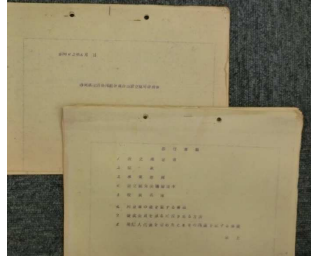
静岡県生活協同組合連合会



## 1967年 9生協の参加で 静岡県生活協同組合連合会創立

「設立趣意書」より  
 ……ここ数年急速な生長をとげて  
 きましたが、共通の目的を負いながら  
 統一した活動がなされず組合の多くは  
 経営的に困難な道をたどっております。

……県連合会を設立し広い視野のもとに協力するならば、幾多の  
 困難を打開し、安定した形で生協経営の改善に役立つと思うので  
 あります。……



### 【創立時の加入会員】

9組合53, 983人

- ①中部地方勤労者生活協同組合
- ②遠州地方勤労者生活協同組合
- ③東部地方勤労者生活協同組合
- ④静岡県学校生活協同組合連合会
- ⑤静岡生活協同組合
- ⑥静岡大学生生活協同組合
- ⑦島田市勤労者生活協同組合
- ⑧全労静岡西部地区会議生活協同組合
- ⑨鈴木自動車工業生活協同組合



静岡県生活協同組合連合会

## 1968年 CO・OP商品の普及 せいきょう醤油の開発



当時、キッコーマン醤油の値上げに対応し、  
 『自分たちの醤油を作ろう』と、「原材料」  
 「味」「価格」をメーカーと交渉し、組合員  
 テストを重ね、『せいきょう醤油』（2L入り  
 150円）が発売されました。（静岡生協）



静岡県生活協同組合連合会

## 県内各地に広がる地域生協（西部）

1969年 中遠生活協同組合

1972年 浜松勤労市民生活協同組合



浜松勤労者市民生協の創立総会の様子。



静岡県生活協同組合連合会

## 県内各地に広がる地域生協（東部・中部）

1972年 清水生活協同組合

1974年 富士生活協同組合

1975年 富士宮生活協同組合

1979年 伊豆生活協同組合



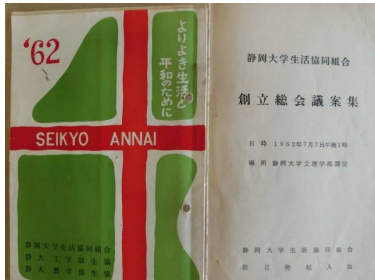
清水生協の創立総会。約700人の組合員が出席し開催されました。



静岡県生活協同組合連合会

## 大学生協の活動（静岡大学生生活協同組合）

1953年、静岡大学生生活協同組合創立。 当時は文理学部（静岡市）、農学部（磐田市）、工学部（浜松市）の各キャンパスに生活協同組合がありました。  
1962年7月7日 臨時総代会を開催し、三生協が統一されました。



←創立総会議案書（1962年7月7日）



臨時総代会開催時の様子→



静岡県生活協同組合連合会



## 大学生協の活動（静岡大学生生活協同組合）



1962年当時の購買部。日用品、書籍、文房具、衣料品などを“市販よりも大分安価”に供給しました。



昼食時に混雑した食堂。当時は朝・昼・夕の三食が提供されていました。



理髪部の様子。当時の価格は「洗髪調髪110円、洗顔髭剃り70円・・・」



静岡県生活協同組合連合会



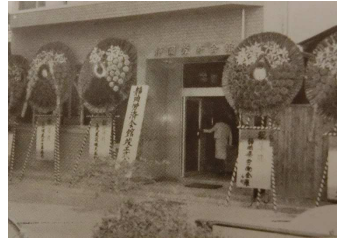


## 静岡県労働者共生協（全労済）の活動

生協法制定（1948年）以降、労働組合の間でも福祉活動のひとつとして共済事業に関する関心が高まり、全国各地で労働者共済生協が設立されました。  
静岡県においても1957年、静岡県労働者共済生協が設立されました。



第1回通常総会の様子



静岡労済会館落成（1966年）



静岡県生活協同組合連合会

## 静岡県労働者共生協（全労済）の活動

「組合員の助け合い」から生まれた共済事業

1957年 火災共済  
1964年 総合共済  
1967年 交通災害共済  
1982年 自動車共済  
1983年 こくみん共済  
1997年 自賠責共済  
2000年 自然災害共済  
.....



七夕豪雨（1974年）



阪神淡路大震災（1995年）



静岡県生活協同組合連合会

## 静岡県学校生活協同組合連合会の活動

教職員互助組合の指定店事業を引き継ぎ、組合員の福利厚生を目指し、1957年に創立されました。



当時の巡回車（県教育会館、売店前）



1966年頃、学校風景（周智地区）



静岡県生活協同組合連合会

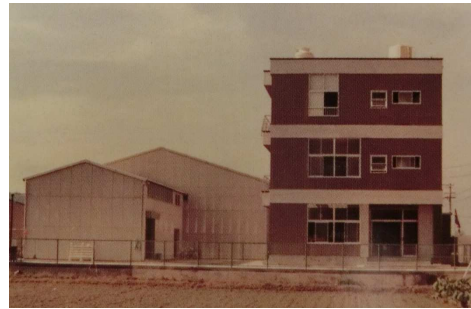
## 静岡県学校生活協同組合連合会の活動



正月商品（新巻鮭出荷作業）



かずのおけいこ（1972年版）



事業拡大に伴う商品倉庫・職員増等、総括的な判断のもと新事務所・倉庫を建設（1970年）



静岡県生活協同組合連合会



## 静岡県生協連の活動「県下一个の生協」に

1980年当時人気のCO-OP商品



県下生協の事業統一などを提起した県生協連「中期計画」



“生協を強くするために組織を統一しよう”

- ◆第1次中期計画(1979-1981)「単協強化、交流強化、事業連帯の推進」
- ◆第2次中期計画(1982-1984)「中部4生協の組織合同、西部市民生協との連帯、東部地域での共同購入事業統一」
- ◆第3次中期計画(1985-1987)「80年代末に県民の30%が参加する生協づくり。89年には地域生協の組織合同を完了する」という目標をかけた、県生協連のもとで団結し活動を進めました。



静岡県生活協同組合連合会

## 県下一个の生協に（中部）

1981年 清水生協・静岡生協・中部生協・島田市民生協の  
共同購入事業統一開始

1983年 清水生協・静岡生協合同



清水生協・静岡生協の合同総会。  
合同議案を全会一致で採択した瞬間。



静岡県生活協同組合連合会

## 県下一つの生協に（東部）

1983年 伊豆生協・東部生協・富士生協・富士宮生協の  
共同購入事業統一開始



東部4生協統一の配送センター（1984年9月完成）



静岡県生活協同組合連合会

## 県下一つの生協に「生協しずおか」創立

1985年 静岡生協・生協するが・島田市民生協が合同し  
生協しずおかを創立

1987年 生協しずおか・西部市民生協が  
合同し生協しずおかを創立



1987年1月6日、「生協しずおか」合併のための組合員総会。



静岡県生活協同組合連合会

## 県下一つの生協に「コープしずおか」創立

1988年 伊豆生協・東部生協・富士生協・富士宮生協・  
佐久間生協・生協しずおかが合同し、  
生活協同組合コープしずおかを創立



合併契約書に6生協の理事長が調印。

「いきいきとした創造的な活動で、暮らしを守り発展させ、地域社会に  
貢献する生協運動をめざします」という中長期ビジョンが掲げられました。



静岡県生活協同組合連合会

## 消費者ニーズの多様化と生協の広がり

1987年 生活クラブ生活協同組合・静岡 創立

1989年 あいち生活協同組合 創立

1997年 浜北医療生活協同組合 創立

2007年 生活協同組合パルシステム静岡 創立



医療福祉生協連

pal\*system  
生協 パルシステム



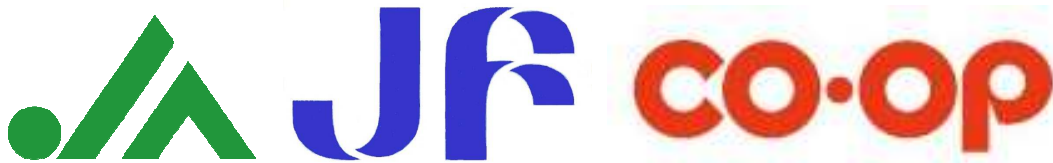
静岡県生活協同組合連合会



## 生産者団体との連携・協同

1970年 米の共同購入運動（農協との提携）

1979年 国際協同組合デーを「農協」「漁協」「生協」の  
3者で初共催



静岡県生活協同組合連合会

## 農協・漁協・森林組合との協同

1990年 協同組合間提携推進協議会発足

### 【目的】

- ①生産者、消費者のより豊かな生活をめざします
- ②自給率の向上をめざします
- ③地域社会の活性化への貢献をめざします
- ④協同組合機能の相互補完をすすめます
- ⑤豊かな環境作りをめざします



静岡県生活協同組合連合会

## 農協・漁協・森林組合との協同 協同組合間提携推進協議会



各団体の人と人との交流を深めることを目的に、「女性交流集会（写真・左＝静岡県水産技術研究所浜名湖分場見学）」や、若手職員を対象とした「協同組合学習交流会（写真・右）」などを継続的に行っています。



静岡県生活協同組合連合会

## 国際協同組合年（IYC）の取り組み



富士山麓植樹・育林活動（2012年～）



協同組合間提携推進協議会構成団体と労働者福祉事業団体の協同により、富士宮市北山の山林にクヌギ・コナラの苗各250本を植樹しました。  
その後、毎年7月に育林活動として、苗の下草刈りを行っています。



静岡県生活協同組合連合会



## 国際協同組合年（IYC）の取り組み



静岡発さばじゃが君の開発（2012年）



「静岡産の食材」「魚の消費」など“食育”の観点から学校給食でも提供されています。

地産地消の推進、資源の有効活用などをテーマに、協同組合間提携推進協議会や行政とともに、しずおかオリジナルブランド商品「静岡発 さばじゃが君」を開発しました。発売から2週間で4万個を販売しました。「静岡発 さばじゃが君」は各地の試食会でも好評で、マスコミにも取り上げられました。



静岡県生活協同組合連合会

## 東日本大震災被災地支援の取り組み

静岡県ボランティア協会「クリスマスサンタ隊」に参加



岩手県大槌町と釜石市の三陸ふじのくに絆ハウス運営への協力資金を寄付するとともに、『クリスマスサンタ隊』にミカン10キロ箱20箱を寄贈し、仮設住宅で年末年始を迎える皆様から大変喜ばれました。クリスマスサンタ隊の取り組みには継続して協賛参加しています。



静岡県生活協同組合連合会



## 大規模災害時に備えた県域団体との連携

災害ボランティア図上訓練 (2017年3月)



「県内の災害支援活動を行う県域団体との交流会」(県社会福祉協議会主催)に参加し、諸団体との交流を図っています。

また「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」(県労働者福祉基金協会・県ボランティア協会主催)に参加し、災害ボランティア本部の運営に参加しています。



静岡県生活協同組合連合会

## 食の安全・平和・災害支援の取り組み

- 1993年 製造物責任 (P L) 法制定運動
- 1994年 原水爆被害者の会と共同し、静岡県内全市町村議会で「核兵器廃絶を求める意見書」採択の取り組み
- 1997年 「自然災害等に対する公的補償を求める」署名運動
- 2001年 「食品衛生法改正・運用強化を求める請願」の取り組み
- 2002年 「しずおか食の安全基本方針・アクションプログラム」制定に向けた意見書提出



日和佐信子氏 (雪印乳業社外取締役・当時) を招いて (2002年)



静岡県生活協同組合連合会

## 核兵器廃絶を願って 被爆者とともに



静岡県内のヒロシマ・ナガサキ被爆者の皆さんとともに、平和行進や3・1ビキニデー集会などの取り組みを行っています。

また、生協組合員が被爆地を訪れ、原爆の被害の実際の姿を自身の目で見て、耳で聞き、平和のためにできることを考える機会として「ヒロシマ・ナガサキ平和の旅」を行っています。



静岡県生活協同組合連合会

## 核兵器廃絶をめざす取り組み

2015年 核不拡散条約（NPT）再検討会議に代表派遣



2015年5月にニューヨークで開催されたNPT（核不拡散条約）再検討会議に静岡県生協連から代表を派遣し、現地での被爆者の活動支援や街頭での核兵器廃絶アピール活動を行いました。



静岡県生活協同組合連合会



## 3・1ビキニ事件を語り継ぐ取り組み

ビキニ事件60年学習講演会（2014年）



「協同丸」を焼津市に寄贈（2016年）



1954年3月1日に発生した「3・1ビキニ事件」の被災船「第五福竜丸」の地元として、2014年には「ビキニ事件60周年記念講演会」を開催しました。また、第五福竜丸乗組員から東大生協に寄贈され長らく保管されていた「協同丸」を焼津市に寄贈しました。



静岡県生活協同組合連合会

## 消費者問題ネットワークしずおかの設立

設立総会（2005年12月4日）



コープフェスタ出展、消費者カクイズ（2009年10月）



「消費者問題の解決と消費者の権利の確立に向けて、消費者が手と手を取りあいましょう」を合い言葉に「消費者問題ネットワークしずおか」が16団体、4個人の会員により結成されました。会員同士の協力により、消費者啓蒙のための学習の場の提供、消費者行政への提言、消費生活相談員資格試験講座の開催などを実施しています。



静岡県生活協同組合連合会



## 「NPO法人フードバンクふじのくに」の設立

【設立趣意書より】・・・食料自給率が4割（カロリーベース）を切っているにも関わらず、印字ミスや外箱の破損等の理由で流通させることができずに処分せざるを得ない食料は年間約500～800万トンと言われており、その一方で、明日の食事にも事欠く人が増えています。この矛盾した2つの問題を結びつけ、処分せざるを得ない食料を預かり、本当に食料を必要としている人や場所に届ける、フードバンク事業を行います。・・・



### 【構成団体】

一般社団法人静岡県労働者福祉協議会  
 公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会  
 NPO法人静岡県ボランティア協会  
 NPO法人サポート・しみず  
 NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡  
 NPO法人POPOLO、NPO法人ワーカーズコープ  
 連合静岡、静岡県労働金庫、静岡県生活協同組合連合会



静岡県生活協同組合連合会

## 「NPO法人フードバンクふじのくに」の設立

フードドライブボックス（ユーコープ島田おびりあ店）



寄贈された商品



フードドライブの取り組みは、2015年度よりユーコープの宅配在庫商品の提供から始まり、2016年度は全店舗（17店舗）での回収も始まりました。2016年度は48回、5480kgの食品が寄贈されました。



静岡県生活協同組合連合会

## 静岡県生協連加盟9生協

- 1967年 静岡大学生協同組合  
 鈴木自動車工業生活協同組合（現・スズキ生協）  
 静岡生活協同組合（現・ユーコープ）
- 1989年 生活クラブ生活協同組合・静岡
- 1996年 静岡県労働者共済生活協同組合
- 1997年 静岡県教職員生活協同組合  
 浜北医療生活協同組合
- 2007年 生活協同組合パルシステム静岡
- 2011年 あいち生活協同組合



夢あるくらしのお手伝い  
 静岡県教職員生活協同組合



静岡県生活協同組合連合会

皆様とともに歩んだ50年  
 これからも、どうぞよろしく願い申し上げます。

